



祝還暦「実年式」を開催します

町では、人生の大きな節目である60歳を迎える方々を対象に、実年式を開催します。皆さまのご参加をお待ちしております。

●開催日時

平成30年2月11日（日）
建国記念の日
午後2時30分～

●場所

鶴田町国際交流会館ホール
対象者

昭和32年4月2日から同33年4月1日までに生まれ、次のいずれかに該当する方
①鶴田町に居住または勤務さ

れている方

②鶴田町出身の方

●内容

式典、祝賀会（会費制）

●申込期限

平成30年1月19日（金）

●問い合わせ・申込先

教育委員会社会教育班
（内線211）

富士見スキー場がオープンします

富士見スキー場がオープンします。オープン初日はスキー場を無料開放します。

●日時

平成29年12月23日（土・祝日）
午前10時～（安全祈願祭あり）

※当日、雪が少なくて滑れない場合は、スキー場の1日無料券をプレゼントします。

●問い合わせ先

教育委員会社会教育班
（内線212）

不動産取得税 軽減制度について

○不動産取得税とは

家屋を新築・増築したとき、また、土地や家屋を売買・贈与・交換などで取得したときに一度だけ課税される県の税金です。

○軽減制度について

住宅用の土地を取得した日から3年以内に、その土地の上に、床面積が50㎡以上240㎡以下の住宅（特例適用住宅）が新築された場合には、不動産取得税が軽減されます。なお、この軽減制度を受けるためには申告が必要です。また、このほかにも不動産取得税の軽減制度がありますので、詳しくは、左記までお問い合わせいただくか、県ホームページをご覧ください。

●ホームページ

http://www.pref.aomori.jp/life/tax/004_01fudousanindex_00.html

●問い合わせ先

西北地域県民局県税部課税課

TEL0173（34）2111
（内線212・214）

あおもり子育て応援パスポートについて

県では、子育て家庭等が買い物などの際に、割引等各種サービスが受けられる「あおもり子育て応援パスポート」を発行します。

多くの企業や店舗に協賛をいただながら、地域全体で子どもと子育て家庭を応援する気運づくりを促進しています。

●対象世帯

18歳未満の子どものいる世帯、妊娠中の方がいる世帯

●申請方法

「インターネットによる申請」

青森県電子申請・届出システム内の「あおもり子育て応援パスポート申込手続き」にアクセスし、案内に従って必要事項を入力してください。

【郵送・FAXによる申請】

青森県子ども家庭支援センターのホームページに添付する申込書と、世帯の一番下のお子さまの健康保険証の写しもしくは、母子健康手帳の写し（出生証明書記載ページ）を添付の上、お申し込みください。

※妊娠中の方は、母子健康手帳

タぐれ窓口

1月のタぐれ窓口を次のとおり町民生活課窓口で開設します。

■開設期日 1月12日（金）、26日（金）

■開設時間 午後5時～6時

閉庁後に戸籍抄本・謄本（午後5時までに電話での申し込みが必要）や印鑑証明書、住民票が必要な方、町に対する苦情や意見、要望のある方は、お気軽においでください。なお、町税の納付もできますので併せてご利用ください。

教育相談電話

子どもの悩みや心配事の相談を電話で受けています。秘密は厳守しますので、お気軽にご利用ください。

■相談先

教育委員会（内線210）

■相談日時

月～金曜日 午前8時30分～午後4時30分（土・日曜日、祝祭日、年末年始を除く）

行政・人権相談

町では、町民の皆さんの行政に対する意見や要望、日頃生活する上での困り事など、さまざまな内容の相談を受けるための行政相談と人権相談を行っています。

1月の相談日は次のとおりです。

■期 日 1月10日（水）

■相談時間 午前10時～午後3時

■場 所 国際交流会館1階102研修室

の写し(出産予定日記載ページ)を添付。

※受付は随時行っています。

■問い合わせ・申込先

青森県子ども家庭支援センター
(青森市中央3丁目17の1
アピオあおもり内)
TEL 017(732) 1011
FAX 017(732) 1073

放送大学4月生募集のお知らせ

放送大学では、平成30年度第1学期(4月入学)の学生を募集しています。

放送大学はテレビ等の放送やインターネットを利用して授業を行う通信制の大学です。働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、さまざまな目的で幅広い世代、職業の方が学んでいます。

心理学・福祉・経済・歴史・文学・情報・自然科学など、幅広い分野を学べます。

●出願期間

平成30年3月20日(火)まで資料を無料で差し上げます。

■問い合わせ・資料請求先

放送大学青森学習センター
TEL 0172(38) 0500
八戸サテライトスペース
TEL 0178(70) 1663

明治150年関連施策について

平成30年(2018年)は明治元年(1868年)から起算して、満150年に当たりります。政府では、内閣官房副長官を議長とする「明治150年」関連施策各府省連絡会議」を設け、①「明治以降の歩みを次世代に遺す施策」、②「明治の精神に学び、さらに飛躍する国へ向けた施策」、③「明治150年に向けた機運を高めていく施策」の3つを柱として、政府一体となつて「明治150年」関連施策を推進しているところであります。国だけでなく、地方公共団体や民間も含めて、日本各地で「明治150年」に関連する多様な取組が推進されるよう、ロゴマークの使用促進や広報などを通じて、「明治150年」に向けた機運の醸成を図っています。詳しくは左記のホームページをご覧ください。

●ホームページ

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/meiji150/portal/>



△ロゴマーク



乳幼児健康診査

場所：町保健福祉センター「鶴遊館」

【4か月児健康診査】

- ・月 日 1月10日(水)
- ・受 付 午後1時～1時10分
- ・対 象 平成29年8月生
- ・内 容 小児科診察・離乳食試食と進め方

【10か月児健康診査】

- ・月 日 1月10日(水)
- ・受 付 午後1時10分～1時20分
- ・対 象 平成29年2月生
- ・内 容 小児科診察・むし歯予防のお話・離乳食試食と進め方

【7か月児健康相談】

- ・月 日 1月11日(木)
- ・受 付 午前9時～9時10分
- ・対 象 平成29年5月生
- ・内 容 育児相談・離乳食試食と進め方

【2歳6か月児歯科健康診査】

- ・月 日 1月24日(水)

- ・受 付 午後12時30分～12時40分
- ・対 象 平成27年5～7月生
- ・内 容 歯科診察、フッ素塗布
むし歯予防指導

※2歳6か月児歯科健診は個別通知あり

※バスタオル・母子手帳を忘れずにお持ちください。また、風邪などの病気のあるお子さんは次回の健診を受けますので、事前に保健師まで連絡してください。

※離乳食試食の際は、赤ちゃん用エプロン、おしぼりをお持ちください。

個別特定健診のお知らせ

●対象

- ① 30～39歳の方
- ② 40～75歳の国保被保険者
- ③ 後期高齢者医療の被保険者
- ④ 40歳以上の生活保護世帯

●期間

平成30年2月末まで

●内容

身体計測、腹囲測定、血圧測定、血液

検査、心電図検査、診察

●健診料

無料

●場所

鶴田診療所

●申込方法

健康保険課⑥窓口または電話でお申し込みください。

※今年度の集団健診で特定健診を受けた方や人間ドックを受けた方は、個別健診を重複して受けることはできません。

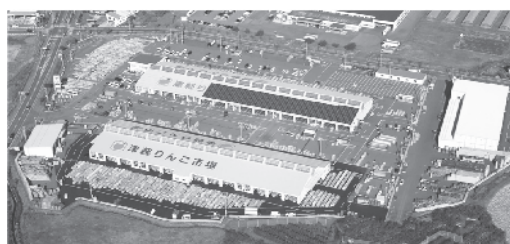
★特定健診は、すでに生活習慣病等で治療中の方も受診対象となっています。

★特定健診を受けることで、健診結果から目に見えない血管の状態を確認し、病気の発症や重症化を防ぐことができます。

■問い合わせ・申込先

健康保険課 健康長寿班
(内線131、132、133、136)

【有料広告】



—地域と共に歩む 真心こめたりんごづくり—



(株)津軽りんご市場

〒038-3684 北津軽郡板柳町大字三千石字二湯 21-3

TEL 0172(72)1211 FAX 0172(72)1229

ホームページ <http://tsugaruringo.jp/>

統合小学校に関するお知らせ

鶴田町の6つの小学校を統合する「鶴田町統合小学校（仮称）」について、平成32年4月の開校を目標に、町では作業を進めています。今回は、10月24日（火）に国際交流会館で開催された統合小学校準備委員会の第2回全体会議について、その概要をお知らせします。

校名や校章のデザイン、校歌について協議

小学校統合に関する必要事項について、検討・協議を行う「鶴田町統合小学校準備委員会」の2回目の全体会議が開催され、統合小学校の校名や校章のデザイン、校歌（歌詞、曲）について、担当する学校運営部会でまとめた提案内容を出席した委員が協議しました。

会議では学校運営部会の片山好弘部会長（水元中央小学校校長）が、8月、9月に開催した部会の会議でまとめた内容を説明。委員からは、「（校章は）子どもたちへの願いなどを考えてつくった方がいいのでは」「地域公募とした場合、選考の対象となるものが出るのか」「町を担う子どもたちの思いを校歌にするのは大事」といった意見が出されました。

全体会議で承認された案件は、教育委員会の定例会に諮られた後、町長へ答申されます。



△統合小学校準備委員会の第2回全体会議

全体会議での協議結果

- ①校名：「鶴田小学校」とする。②校章のデザイン：学校運営部会で再度検討する。
- ③校歌の歌詞：鶴田町にゆかりのある人を対象とした地域公募
（※その後、教育委員会定例会において協議の結果、学校運営部会で再度検討すべきとの意見）
- ④校歌の曲：西北五・青森県にゆかりのあるプロの専門家に依頼する。

鶴田町の健全化判断比率をお知らせします

◆健全化判断比率とは

自治体財政の健全化を示す、「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の4指標。

(%)

財政指標名	平成28年度 決算A	平成27年度 決算B	差引 A - B	早期健全化 基準	財政再生 基準
実質赤字比率 (赤字の場合△)	—	—	—	△15.00	△20.00
連結実質赤字比率 (赤字の場合△)	—	—	—	△20.00	△30.00
実質公債費比率	13.0	13.0	0	25.0	35.0
将来負担比率	127.7	140.6	△12.9	350.0	

※「実質赤字比率」、「連結実質赤字比率」は、赤字の場合「△」で表示し、赤字がない（黒字または収支均衡）場合は「—」で表示しています。

●早期健全化基準をオーバーすると？

→財政のイエローカード。財政健全化計画を策定し、計画に基づく財政健全化を行います。

●財政再生基準をオーバーすると？

→財政再生団体となり、事実上破綻となります。財政再生計画を定め、計画に基づく財政再建に取り組むことになります。総務大臣の許可がなければ地方債の起債（借金）ができなくなります。また、税金や公共料金の増額、住民サービスの見直しをせざるを得なくなります。

◎**実質赤字比率**（一般会計の実質赤字が町税や交付税などの標準的な収入（標準財政規模）に占める割合）

→鶴田町は赤字ではないため数値はありません。

◎**連結実質赤字比率**（町の全会計（一般会計＋特別会計）の赤字が標準財政規模に占める割合）

→鶴田町は赤字ではないため数値はありません。

◎**実質公債費比率**（町の一般会計等が負担する公債費が標準財政規模に占める割合）

→鶴田町は13.0%（27年度は13.0%）※この比率は18%未満が望ましいとされています。

◎**将来負担比率**（町の一般会計等が将来負担すべき債務が標準財政規模に占める割合）

→鶴田町は127.7%（27年度は140.6%）



21世紀の町の担い手たち お母さんからのメッセージ



11月28日（火）に国際交流会館で行われた誕生証書交付式
に出席された方々（平成29年9月届け出）



喜市（きいち）くんへ

みんなで楽しく幸せな時間を
過ごそうね。産まれてきてく
れてありがとう♥

（藤田 麻理さん・鶴泊）



美羽（みう）ちゃんへ

お兄ちゃんと仲良く元気です
くすくす育てね！

（笹森 夏美さん・派立）

精神保健福祉事業の 功績をたたえ表彰

町精神障害者家族会「飛鶴会」（福士善則会長）が、精神保健福祉事業に尽力した功績が評価され、東北精神保健福祉連絡協議会会長表彰を受賞しました。11月10日（金）には福士会長が町役場に相川町長を訪ね、受賞の喜びを報告しました。

同会は平成6年に設立。精神障害を抱える方の家族が集い、当事者の社会復帰を支えるために学習会等を通じて病気の理解や家族の役割を学ぶほか、多機能型事業所「飛翔食房」と清掃ボランティアやクリスマス会等の活動を合同で行い、交流と親睦を深めています。

福士会長は「今回の受賞を励みに、会員みんなでこれからも頑張りたい」と話していました。



△受賞の報告をした福士会長（中央）

サポーターがつるりん体操でお年寄りの体力づくりを支援

町では、町民の健康づくりを目的に考案した「つるりん体操」を普及させようと、サポーターが介護福祉施設や事業所を訪問し、お年寄りに体操を指導する取り組みを行っています。各施設での自発的な体操の取り組みを促すことが目的で、町の健康体操教室に通う町民5人がサポーターを務め、今年度は町内14か所を3回ずつ訪問する計画で活動しています。

つるりん体操は筋肉トレーニングやストレッチを兼ねた3分ほどの全身運動。歩く運動や体をねじる運動、認知症予防に効果的な左右の手を使った頭の運動など6つの動きに分かれ、足腰の弱い方のために椅子に座りながらできるようにもなっています。

10月11日（水）には、サポーターが鶴遊館を訪問し、デイサービスに通うお年寄りに「息を吐いて手を広げてください」「元気になる体操ですよ」と声をかけながら体の動かし方を教えていました。サポーターの佐藤佳子さんは「つるりん体操を施設で指導する取り組みに共感しています。教えるのは難しいですがやりがいがあります。体操を行うことで皆さんに長生きしてもらいたいです」と話していました。



△お年寄りにつるりん体操を教えるサポーター（写真奥）